

ものづくりにかける

特集 仕事図鑑

宮城県内のものづくり企業では、どのような製品が作られ、どんな仕事をしている人がいるのか。現場で働く4人のエースの姿と生声から、宮城のものづくりの「いま」を紹介します。



株式会社アステム
佐藤 優哉さん



株式会社日の丸ディスプレイ仙台
佐藤 茜さん

高橋 海結茄さん



株式会社エヌエス機器
菅原 さよさん



株式会社環境産業
熊谷 峻汰さん

オガレ! ACE

Vol.23

ものづくり産業広報誌

01 ようこそ宮城へ!
牧野精工株式会社 宮城工場

02 特集・仕事図鑑
ものづくりにかける

[CASE.1]

製造
佐藤 優哉さん
株式会社アステム

[CASE.2]

製造
佐藤 茜さん 高橋 海結茄さん
株式会社日の丸ディスプレイ仙台

[CASE.3]

製造
菅原 さよさん
株式会社エヌエス機器

[CASE.4]

製造
熊谷 峻汰さん
株式会社環境産業

15 技能の羅針盤
石巻高等技術専門学校
大崎高等技術専門学校

17 TOPICS
高校生が若手社員に聞く!
仙南地域ものづくり企業説明会

19 あすを拓く
仙南マシナクラブ
熊谷 裕一さん

21 技の肖像
ヴァイオリン職人
安富 成巳さん

22 NEWS BOX

オガレ! ACEについて

「オガレ!」は、宮城の方言「おがる(育つ)」と応援のかけ声「オーレ」の造語です。
ACEには、Active(アクティブ)、Creative(クリエイティブ)、Energisch(エネルギッシュ)の頭文字をとり、活動的で創造的であり活力にあふれる人材(エース)の育成を支援したいという思いを込めました。



むすひ丸

ようこそ
宮城へ!



牧野精工株式会社 宮城工場 (登米市)

牧野精工株式会社は、大阪府門真市に4つの工場を持つ、建設機械、農業機械用の油圧機器を製造・販売している会社です。
「油圧機器」と聞いてもピンとこないかもしれませんが、クレーン、油圧ショベル、ダンパー、はしご車、救急車、フォークリフト、トラクターなど、みなさんも知っている様々なものに使われています。その中で弊社の製品は、油圧ショベルやポンプ車、トラクターに採用されています。
弊社は1940年に、「大阪ダイヤモンド工業所」として超硬合金工具の製造販売を始め、49年に「牧野精工株式会社」を大阪市に設立しました。75年には、油圧機器用電磁弁の製造を開始。85年に現在の場所に本社工場を移転しました。その後、第二工場(2003年)、第三工場(07年)、第四工場(11年)と工場を拡張し、顧客の需要に対応してきました。
弊社では、5〜50ミリ径のスリーブとスリーブを、マイクロオーダーの隙間で加工できることが強みで、この技術により、油圧ショベルなどの微細な制御を可能にしています。

私たちが生産する製品は、お客様の要望に応えたオーダーメイド品です。多品種少量生産で自動化が難しい部分があるため、頼りになるのは人の力です。「言われたことをやる」のではなく、「ひとりひとりがやるべきことを考え動く」ことを会社ポリシーに掲げ、40歳前後の社員が、主力メンバーとして活躍しています。
社長が18年間、宮城県内の会社に勤務していたことから、さらなる生産能力拡大を見すえた「第五工場」の建設をゆかりのある宮城県で進めることになりました。2020年の宮城工場稼働時は、現地採用の30人前後で開始する予定ですが、大阪チームのサポートを受けながらワンチームとなり立上げを進め、いずれは大阪、宮城の工場間で切磋琢磨し、新規ビジネスの獲得を含めた事業の拡大を図っていきます。



上: スリーブ・スプール
下: 電磁弁カートリッジ

所在地/登米市豊里町小口前130
<http://makino-seiko.co.jp/>
代表取締役/牧野 洋一
資本金/1,900万円
従業員数/158人(2019年11月現在)
※宮城工場: 操業開始時30人を予定
事業内容/建設機械、農業機械用油圧機器の製造・販売

